

患者の用語認知度と専門家の認知度予測

用語	外来患者	歯科学生	歯科医師
人工歯	86.4%	66.5%	26.7%
矯正	78.0%	62.4%	41.8%
マウスピース	29.2%	58.7%	36.4%
歯矯正	40.0%	26.8%	18.7%
歯列矯正	30.0%	69.8%	68.2%
矯正器具	22.1%	46.0%	29.8%
歯列矯正装置	69.5%	57.4%	25.9%
マウスピース	21.5%	40.9%	62.1%

*外来患者は用語を知っている割合、歯科学生と歯科医師は用語が一般的に「知られている」と思っている割合

用語の分かりやすさ 歯科医らと患者にズレ

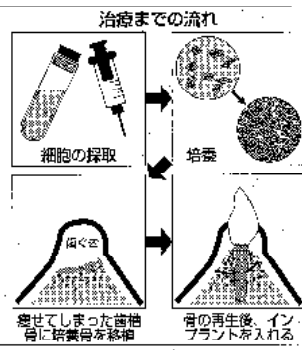
5年牛 岩手医大 峯田さんが調査

調査では、歯学部大生が「矯正」の認知度が最も低いことが分かった。一方で、患者の認知度は最も高かったのは「歯矯正」で、99.9%だった。一方、歯学部大生は「矯正器具」の認知度が最も低かった。認知度のズレが大きい用語は、「人工歯」「矯正」「マウスピース」など、患者の認知度は高いが、歯学部大生の認知度は低い用語がいくつかある。調査結果は、同研究は8月10日、岩手県中津市で開かれた「SCRP日本遠征大会」で発表された。

患者とのコミュニケーションの重要性が認識されているが、あなた自身が患者と理解し合える言葉を使いこなせることは、歯医者さんとして、あるいは歯学部大生として、重要なスキルである。調査結果は、歯学部大生と患者の認知度のズレが大きい用語をいくつか挙げてみる。患者の認知度は高いが、歯学部大生の認知度は低い用語がいくつかある。調査結果は、同研究は8月10日、岩手県中津市で開かれた「SCRP日本遠征大会」で発表された。

骨再生治療が実用化

今月から提携歯科を募集



インプラントと骨再生治療の組み合わせにより、従来の治療法よりも優れた治療法が実現されています。同社は、この治療法を導入する提携歯科を今月から募集しています。興味のある方は、お問い合わせください。



おじいちゃんは8001

一口のタイムトラベル

おじいちゃん、おばあちゃん、お孫さん。みんな笑顔で過ごす。おじいちゃん、おばあちゃん、お孫さん。みんな笑顔で過ごす。

明治期に小児啓蒙
巖谷小波著「葉ぬけ節」

この本は、明治期の小児啓蒙をテーマにした小説である。著者は、小児科の権威者として知られている。

口腔衛生 巖谷小波著「葉ぬけ節」

この本は、口腔衛生の重要性を説いた小説である。著者は、口腔衛生の専門家として知られている。



SCRP日本遠征大会でポスター発表する峯田さん

調査結果は、同研究は8月10日、岩手県中津市で開かれた「SCRP日本遠征大会」で発表された。

歯科界事件簿

●115万円を不正請求し保険医取り締まり(東京)
東京の歯医者さんが、不正請求を繰り返していたことが発覚した。不正請求の総額は約115万円とされている。

●歯科治療の領収書偽造(滋賀)
滋賀県の歯医者さんが、領収書を偽造していたことが発覚した。不正請求の総額は約115万円とされている。